



企画名：山本高之「どんなじごくへいくのかな」ワークショップ

WS 期日：2016 年 7 月 16 日（土）～7 月 18 日（月/祝） 全日 11:00～17:00

※ サポーターの実働時間は、表記の WS の実施時間より早く始まり、終了時間より遅くなります。
詳しいスケジュールは面談の際にお伝えします。

WS 会場：調整中、ArtTheater dB 神戸

サポーター募集人数：約 12 名（面談あり）

内容：山本高之さんのアシスタントとして、WS に関わります。主には、子供たちが自由に発想した地獄を、子供たちと共に、形作っていきます。ワークショップの開催時間が限られている中で、それぞれの地獄を完成させていきますので、タイムキーパーとしての役割も担う事になります。現代美術のプログラムの創作過程に興味のある方、子どもを対象としたプログラムに興味のある方等からのご参加をお待ちしております。

参加条件：

- ・ 3 日間の全日程に参加できる方
- ・ 子供たちの発想に柔軟に対応できる方
- ・ 造形や工作に興味のある方（経験のある方）
- ・ 交通費補助・薄謝として 3 日間で 9,000 円支払います。
- ・ 面談日程 （6 月 29 日（水）・30 日（木） 15:00～20:00 のなかで各 30 分）

ワークショップ概要：

企画名：山本高之「どんなじごくへいくのかな」ワークショップ 講師：山本高之

WS 期日：2016 年 7 月 16 日（土）～7 月 18 日（月/祝） 全日 11:00～17:00

子ども参加対象：幼稚園～小学校 3 年生 ※4 歳～9 歳（3 日間通しで参加できる方）

定員：12 組（要予約）

お申し込み：NPO 法人 DANCE BOX

電話 078-646-7044 / Mail info@db-dancebox.org

山本高之「どんなじごくへいくのかな」について：

2016年7月23日から開催する「みんなのフェスティバル」のメイン・プログラムの一つとして、山本高之さんの作品『どんなじごくへいくのかな』を行います。この作品は、様々な地獄が描かれた“熊野観心十界曼荼羅”の宗教絵画から着想を得たものです。事前に開催するワークショップでは、子供たちが自由に発想した様々な地獄を段ボールや日用品等をつかって形にして、完成後は自分がつくった地獄について紹介する様子を映像で撮影します。最終的な展示では、子供たちがつくった地獄を舞台上にならべ、壁面には子供たちが地獄を紹介する映像を映しだし、お客さんはまるで地獄巡りをするかのように、子供たちの編み出した地獄を見て聴いて回ります。

山本高之 プロフィール：

自身の小学校教員としての経験を元に、主に子供達と共にワークショップ形式の活動を通して「何かを知る」という体験について探求している。ワークショップでの成果物や撮影した映像を元にインスタレーションを行う。美術館や教育機関などで行われている美術教育全般についても関心がある。近年では東北(特に宮城地方)の民話についてのリサーチを行い、知識を伝える際に物語が果たす役割についても考察している。

「みんなのフェスティバル」について：

「みんなのフェスティバル」では、“まちを遊び場に、劇場を原っぱに！”をコンセプトに、新長田の様々なスペースにて、ダンスやイベント、多様なアートを通じて出会い、いろいろな人々が混ざり合い、新たな“愉しみ”や“遊び”を見つけ出すような開けた場をつくることを目指します。

2016年度版は、夏の匂いが強く蒸せかえる7月23日～30日に実施。“地獄”や“妖怪”をキーワードに、あの世とこの世をつなぎ、人間も妖怪も死霊も生き霊もごちゃ混ぜに、どんちゃん騒ぎをするようなお祭りをつくりたい。そうして、この世に生きることを改めて楽しみ、そしてあの世や亡くなった人々に思いを巡らせるような時間を生み出したいと考えています。

関連事業：

- ▲ 7/23 (土) オープニング・イベント (午後)：地獄をつくりだした子供たちが主役となるオープニング・レセプション。テープカットの他に、地獄ドリンクで乾杯など。
- ▲ 7/23 (土) オープニング・イベント (夜)：新長田の宗教家が一堂に会し、子供たちが編み出した地獄を入り口に、新長田の宗教家の方々に、地獄、あの世、死についてお伺いし、現代の死生観について考えることのできるような時間をつくりたいと思います。
- ▲ 7/30 (土) クロージング・イベント：山本高之さんによるトーク・イベントを実施。最後には「みんなのフェスティバル」を締めくくる地獄盆踊りで総踊り！